

放射線に関する講演・討論会

物理部会 助教 鳥居 寛之

原子力発電所の事故が連日トップニュースで報じられ、世界中が放射能汚染に対しヒステリックなまでに反応している現在、我々には放射線に対する正しい科学的リテラシーが求められています。一方で、放射線に関する学問は多分野にわたり、なかなか網羅的な話を聞く機会はありません。物理部会でも放射性物質、放射線の影響についていろいろ議論が交わされましたが、放射線になじみのない方が多く、不安を抱いている方もありました。そこで、僭越ながら、下記のように講演・討論会をもつこととしました。

題目： 放射線の物質および生体への作用

講演者：鳥居 寛之（物理部会）

対象： 物理部会関係者、広域科学専攻関係者（教員、学生ほか）

日時： **2011年4月26日（火）16:30 から**

場所： 16号館126・127教室

講演内容：

放射線の種類と性質

放射線と物質との相互作用

放射線の生体への作用・影響

放射線防護の考え方

放射線医療

私は粒子線物理学・原子物理学を専門とし、普段放射線管理区域での実験研究をしていますが、もとより原子力工学の専門家でもありませんので、原発で起こっている事態や原子炉の構造、原子力発電の仕組みなどを話すつもりはありません。今回はあくまで放射線についての話です。講演では放射線の種類・性質や物質との相互作用について解説した上で、生体への作用、放射線防護の考え方についてもお話したいと思います。

「放射線を正しく怖がる」ために必要な、一定の基礎知識をお伝えできると思います。

ただし、普段から放射線源を使って研究されている、特に生命科学の研究者の方にとっては釈迦に説法かと思います。なじみのない方向けということでご理解頂き、私がスライドを準備して発表しますが、一方的な講演ということではなく、皆さんどんどん専門的な意見を述べて頂いて、討論会のような雰囲気になることを想定しています。

皆様どうぞよろしくご参集下さい。